

平成27年度 第2回 宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成27年7月31日（金）午後3時～4時40分
2. 場所 宮古市役所本庁舎 6階大ホール
3. 出席委員 19名
北原啓司、寺崎勉、赤沼正清、小野寺文雄、内田瑛子、盛合敏子
林本卓男、中野正隆、伊藤和榮、山下修治、佐香英一、高橋雅之
横田大樹、鈴木光子、工藤歩、佐々木慶子、岩田博子、平藤一氏幸
望月正彦
4. 事務局出席者 14名
企画部長 山崎政典
復興推進課市街地施設推進室室長 岩間健、同主任 竹田真人
都市整備部都市計画課復興拠点整備室 主査 石阪良治
同主事 中尾和子
都市整備部建築住宅課建築担当 主任技師 山根孝之
同主任技師 小林勝明
株式会社久米設計東北支社 2名
株式会社三菱地所設計東北支店 4名
株式会社千代田コンサルタント 1名
5. 傍聴者 2名
6. 議題 (1)「宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計（案）」について
(2)「中心市街地拠点施設整備事業・市民アンケート調査」について
(3)「宮古市庁舎跡地活用に関する基本構想（案）」について

7. 議事録（要旨）

- (1)「宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計（案）」について

| |
|--|
| 主な意見及び質疑事項 |
| 質疑 ・自由通路に屋根はかかっているのか。 |
| 回答 ・屋根付きで設計を進めていく。 |
| 質疑 ・今回の提案で大体の姿が出てきたという感じを持った。これから順次進めていくうえで具体的になっていけばいい。 |
| 質疑 ・建物のボリュームを計算して広場や駐車場を割り振っていると思う。建物のボリュームはどのくらいになっているのか。 |
| 質疑 |

| |
|---|
| <p>・プロポーザルに関しては基本計画を条件に提案をいただいた。市庁舎は9,000㎡で、全体では14,350㎡で提案いただいた。ただし、職員の人数や会議室のスペース等を見直して、全体の面積も最適な規模になるように精査したい。</p> |
| <p>質疑</p> <p>・駐車場は何台くらい必要なのか。人と車の分離方式だと考えているがスペースは取れるのか。管理に人が必要だが、それも考慮しているのか。</p> <p>質疑</p> <p>・基本計画にも記載しているが、現状の駐車台数等から180台で計画を立てている。人の動線と車の動線が交錯しないように、人が歩く部分の安全性を確保するような動線を考えて配置したいと考えている。敷地が狭く、車で来る人も多い中で、目的外の人長時間利用の心配がある。その解決策の1つとしてパーキング方式がある。アンケート等を踏まえると、市役所での用事を済ます所要時間は30分から1時間以内の方が多い。来訪者に無料チケットを出すなど、方式については今後検討してまいりたい。</p> |
| <p>質疑</p> <p>・本庁舎の9,000㎡は決定なのか。</p> <p>質疑</p> <p>・基本的には9,000㎡を最大として捉えているので、出来るだけ小さい面積で整備できるようにしたい。ただし各課の集約による行政サービスの効率化というのも、1つの大きな課題と思っているので、それらを両立できるようなスペースで検討していきたいと思っている。現在の提案書だと6階建てになっているが、場合によっては5階建てになるかもしれない。面積規模に応じて具体的に今後提案していく。</p> <p>・基本計画案の数値の9,000㎡は最大と捉える。金額を圧縮することも大事なので、集約化・効率化と組み合わせで面積を絞っていければ良い。どういうふうにして面積を集約しながら、効率的で市民の使いやすい市役所にするか、次回あたりにはそういう話もあると思う。</p> |
| <p>質疑</p> <p>・先日新聞に宮古駅の一体化の記事があった。宮古駅の一体化を踏まえながら自由通路を含め、あるいは新庁舎の導入部分、中心市街地との連携連絡の部分をしっかりやっていただきたい。</p> <p>質疑</p> <p>・ご意見のとおりだと考える。事務局は、十分配慮すること。</p> |

(2)「中心市街地拠点施設整備事業・市民アンケート調査」について

| |
|---|
| 主な意見及び質疑事項 |
| <p>質疑</p> <p>・詳細が出てからではないとイメージが掴みづらいという前提の元に話されている。我々の意見というのはどの時点で考える材料になっていくのか。詳細が出てからでも要望の</p> |

取り入れ等に考えていただけるものなのか、早いうちに出した方がいいのか、そういったタイミングがわからない。

今回のアンケートで出していただいた意見はどのように扱うか。少数意見は取り入れないのか。図書館を望む声は少ないようだが、個人的には各スペースに図書の貸出コーナーを配置してほしい。もっと多くの市民から意見を募るべきだというご意見もいただいている。周知不十分だと、この市民検討委員会に参加していない多くの市民は、市が勝手に完成させたと感想を持つ。使う側のアイディアはもらう場面を多く設けてほしい。

回答

・丁寧に広報に出しても、見ない人が多い。途中経過でアンケートをやりながら広報紙に出すなどのプロセスは評価できると思うが、市役所の執務室などの具体論になるとプロの問題。ただサークル等の空間については要望がほしいと思う。急いで基本設計作るときに、そのあたりを端折ってしまうと一番不満が溜まる。そのあたりのマネジメントが大事。

・今日はコンセプトの説明をした。今後はスケジュールに沿った形で順番に情報をお出ししたいと思う。次回には図面等も提供できると思う。自分達が資料を出した際に、こういうところに意見を欲しいというのを明確にして、そのタイミングで必要な情報を委員の皆さんからも仕入れていきたいと思っている。今後は規模だけではなくて使い方・使われ方のイメージを膨らませていきたい。生の声を聞いて、自分たちのイメージと使う側のイメージを一致させながら、効果的に使えるような施設にしていきたいと思っている。それについてはワークショップで、特に跡地について具体的なイメージをいただいているが、これについても来年度以降も中心市街地の活性化等の観点で幅広くご意見を頂戴したいと考えている。

・先ほど14,350㎡という面積の話もした。基本計画の中で総事業費112億円、建設単価を㎡50万円ということで設定している。今の動向では上がっていく部分もある。建物の構造を耐震なのか制震なのか免震なのか、その構造によっても金額が変わってくる。そういった選択もまだしていない。次回には建設単価も説明したい。

質疑

・北原先生の評価として、久米設計の提案は他社と比べて、どこが良かったのか。

回答

・その場での建て替えという話と違って、これを機会に町がもっと活性化していくような考え方がどこに現れてくるか考えた。他にも良い提案があった。その案は、市役所の中で賑わいを作って楽しめる空間になっていたが、ここに来た人たちが街のほうに行くとか、どんな活動を街でしてもらうかという意味での入口の意味もあるから、ここに滞在してもらうのは違うのではないかなとなった。これを見て市役所にいくという目線も大事だが、気が付いたらここに来て、ちょっと通路渡って向こうで美味しいものでも食べていこうかみたいな、そういう人たちのきっかけを作りたいということもあるので、そういう意味でのオープンな部分、歩くことと連動している部分を考えた。行きたいと思う、あるいは毎日あれを見て宮古高校等に通う高校生の記憶に残したいという思いもあるので、それ

を一番考えているのがここの案だとなった。それからコスト的な話でしっかり抑えていたこと、自由通路が中途半端な通用口ではなくて、気持ちの良い空間になっていたことが評価された。

質疑

- ・絵で見ると保健センターが広く見えるが、実際の面積はどのくらいか。

回答

- ・基本計画で想定したものをそのまま抑えているが、基本設計をしていくときに部局との関係性で、位置もどこがいいという話も出てくる。面積的にはこの数字のとおりにはならないと思う。次回にはどの程度の大きさかという話も出てくる。
- ・大体1,000㎡を想定している。被災前の保健センターは健康課が入っていて、執務室でだいぶ場所を取っていたが、今回は、事業実施のための部屋もしっかり確保したい。

(3)「宮古市庁舎跡地活用に関する基本構想(案)」について

質疑

- ・24ページの町田市の「企業支援施設」は「起業支援施設」なので修正をお願いしたい。

回答

- ・適宜修正したい。

質疑

- ・跡地だからといって、何か施設を作ると決めているわけではないし、そのまま公園のようにしていくと決まっているわけでもなくて、これからの進め方次第だということによるしいか。

回答

- ・宮古市がこれまで中心市街地エリアで色々考える中で一番困っていたのが、市所有の大きな土地がないということ。本庁舎・分庁舎の跡地、合わせて1万㎡、これは宮古市として貴重な土地として大事に使っていかなければならない。明日ワークショップで提言が出される。皆さんからのご意見を聞きながら、1つの方向性をまとめていきたいというのが基本構想の内容になる。これらも次回以降の委員会で、検討したい。

3. その他

質疑

- ・これから本格的な設計に入っていく。その中で、設計が進んでいったときに、予算等も含めて基本計画からの数値等の変更が出てくると思う。もし今まで決まったことで、変更の部分があれば、説明や資料に提供をしていただきたい。

回答

- ・プロポーザルは人を選んでいるので、提案内容にこだわらなくていい。今回の案を見るとカーブがあるが、これを直線にしましょうとか、それはそれで受け止める意味がある。説明をしっかりいただきながら皆さんで議論していきたい。

〔委員長から〕

これからが本番だ。基本設計者が決まってしまうとあとはお任せになってしまうケースがある。JR や三陸鉄道が動いていく中で、一体的に考えていきたい。急ぐところは急ぐが、あとで二度手間にならないようにやっていただきたい。あとは伊藤委員が言ったように変更点が議論できる場を作っていただきたい。

〔事務局から〕

次回の委員会は9月2日（金）午後2時から。場所はシートピアなあと。

会議以外の場でも、何かあれば事務局の方にご意見をいただきたい。

以上、閉会。